

新潟大学 ご活用いただける知的財産

タイトル	排水性舗装の健全度の音響的診断法				
	発明者				
	工学部 建設学科 岩瀬 昭雄				
分野	<input type="checkbox"/> IT	<input type="checkbox"/> ナノ	<input type="checkbox"/> バイオ	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・エネルギー	<input type="checkbox"/> その他

概要

骨材間に空隙を持たせて降雨時の道路面に雨水をためず運転安全性を意図して開発された排水性舗装は自動車走行騒音を低減する副次的効果を有し、今では低騒音効果を期待して、市街地道路にも普及している。しかし、自動車交通により次第に目詰まりを起し、それらの機能が低下することも認識されてきた。従って、頃合いを見計らって清掃や舗装の打ち換えが必要で、舗装面の健全度あるいは目詰まり状態を定期的に診断する必要がある。

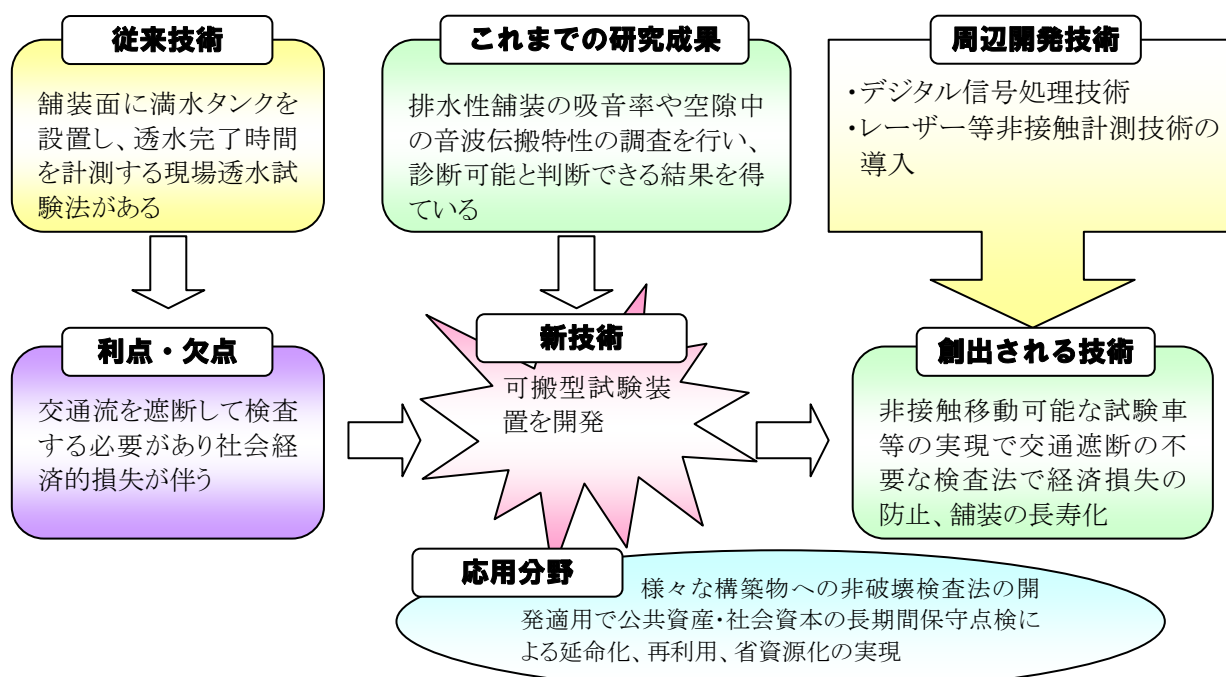
従来は検査方法として直接舗装面の透水機能を調べる方法が採用されてきたが、検査には道路交通を遮断する必要があり経済的損失も伴った。

本手法は、この様な欠点を解消するため、排水性舗装のもう一方の機能である低騒音化の特徴に目を付け、音響的な手法で目詰まり状態健全度を検知しようとするものである。すなわち、排水性舗装表面の吸音特性の低下や舗装空隙を透過する音波の強度変化を調査しその健全度を診断する。



図. 道路路面の吸音率・空隙伝搬特性計測

社会還元への展開チャートと応用分野



新潟大学

新潟大学 知的財産本部

問合せ先：研究支援部産学連携課

TEL：025-262-7613

E-mail：kenkyo@adm.niigata-u.ac.jp



新潟ティーエルオー

問合せ先：025-262-7464

E-mail：master@niigata-tlo.com